

多賀城中

4月の体育祭で強まる絆



これがイチオン

人気キャラ「タッチー」

多賀城中学校にオリジナルキャラクターが誕生しました。全校生徒から募集した案の中から選ばれた、その名も「タッチー」です。

「多賀城中の名物×多賀城市の名物」でデザインされています。校章の形をした頭や、国特別史跡「多賀城跡」の南門とアヤメがモチーフのワンピースを身に着けています。

学校行事のパンフレットの表紙を飾る、みんなの人気者です。これからも後輩たちに愛され続け、受け継がれていくことを願っています。

学校名 多賀城市立多賀城中学校
所在地 多賀城市鶴ヶ谷1の9の1
創立 1947年
電話 022(365)7411
校長 中里 和裕
生徒 384人

多賀城中学校では、体育祭を毎年4月20日ごろに開催します。宮城県内の中学校で最も早く行われています。

各クラスの実行委員と生徒会執行部を中心に、全校で運営します。競技は、全学年共通のクラス対抗リレーや長縄跳びをはじめ、学年ごとのユニークなプログラムもあります。3年生が「五色綱引き」、2年生は「足並みそろえてレッツゴー」、1年生は「タイフーンリレー」などです。さらに有志応援団の「全校応援」も見応えが

見応えある競技や応援

あります。昨年は新型コロナウイルスの影響でできなかったため、3月に卒業した先輩方が、私たちがのために「校歌熱唱」を披露してくれました。心に響くすばらしいものでした。

体育祭は、始業式から2週間程度で準備します。本番に向けた練習を通じたクラスの絆が強まり、終了後には団結力も高まっています。勝ち負け関係なく、みんなの思い出に残る行事を、新入生に引き継ぎ、多賀城中の伝統として大切にしていきたいです。

全校生徒一丸で取り組む体育祭。五色綱引き(右上)、足並みそろえてレッツゴー(右下)、タイフーンリレー(左上)、校歌熱唱(左下)



編集委員 元木暁月、佐藤絢愛、杉森あまね、阿部文音(3年)大石悠斗、後藤純佳(2年) 指導教員 桜井哲也、桂島啓

わが校わがまち スクール通信



今回は 高森小(仙台市) 角田中(角田市)

地域の食や伝統を身近に

加賀野小



これがイチオン

子の成長願う「浮き石」

加賀野小学校のそばの公園には、世界最大級の「浮き石」があります。石について、コラボスクール推進協議会の佐々木猛会長に聞きました。

重さは1.9トン、直径111.1センチ、子どもの力でも回転する不思議な石球です。「子どもたちは夢を持って、(フランスの科学者)パスカルのような偉大な人に育ってほしい」との地域の方々の思いが込められて、1998年に完成しました。お話を聞いて、夢を持って社会で活躍する人になりたいと思いました。

学校名 登米市立加賀野小学校
所在地 登米市中田町石森加賀野1の17の1
創立 1873年
電話 0220(34)2040
校長 二階堂 浩一郎
児童 303人

コラボスクールで体験

加賀野小学校には、「コラボスクール」という活動があります。地域の方々に先生に、地域で大切に守られてきたことを教えてもらいます。

3年生はコメ作りを体験。JAみやぎ登米青年部の方に、コメの成長を教わって、バケツ稲の植え方や稲刈りをしました。おコメへの興味が大きくなりました。

4年生は梅干し作り。学校で育てた梅も使って、丁寧に塩で漬けました。天日で乾かしたり、シソの葉を入れたり、一つ一つに心を込めて作り

5年生は、しめ縄作り。元PTAの方と神社の宮司さんが先生です。しめ縄の由来や伝統を聞いた後、ヘアで縄を両側からしめて、ほどけないように仕上げました。

6年生は茶道体験。お茶のたて方のほかに、おじぎの仕方も教わりました。緊張したけれど、自分たちでたてたお茶を飲んだ瞬間に、おいしくて心が安らぎました。

地域の方に教えてもらうことはとても楽しいです。これからも交流を大切にしていきます。

コラボスクール活動で地域の方々から、いろいろなことを教わる子どもたち。コメ作り(右上)、梅干し作り(右下)、しめ縄作り(左上)、茶道体験(左下)



編集委員 伊藤明桜、菊池いろは、千葉柚依那、野家莉央、及川太雅、小野寺義惺、斎藤美穂、清野凜(6年) 指導教員 菅原裕太(転任)、小野寺美和